

平成 22 年度 収 支 予 算

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

- 収支予算の編成に当たって
- 収支予算書

社団法人 全国大学体育連合

平成22年3月5日

収 支 予 算 の 編 成 に 当 た っ て

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

新会計基準に準拠した予算案の作成に務めた。当期収支の均衡を原則とするが、公益法人改革に伴う諸費用、部会・委員会の増加に伴う諸費用等については、前期からの繰越金で対応することとした。平成22年度の収支予算（案）の要点は以下の通りである。

I 事業活動収支の部

1. 事業活動収入について

① 基本財産運用収入

基本財産引当預金（1,500万円）の前期の実績を踏まえ、25,000円を計上した。

② 特定資産運用収入

事業運営積立資産（特定資産570万円）の前期の実績を踏まえ、10,000円を計上した。

③ 入会金収入

前期の実績を踏まえ、70,000円を計上した。

④ 年度会費収入

平成20年度および平成21年度における会員数の推移から、22,060,000円を見積った。賛助会費収入は平成21年度精算時の実績をふまえ、4件200,000円を見積もった。その結果、合計22,260,000円を計上した。

⑤ 事業収入

指導者養成研修会の受講料収入として、参加者を60名として600,000円を見積もった。
FD推進校審査料収入として、2件分の200,000円を見積もった。
機関誌等の広告収入は、ここ2年間の実績をふまえ計上していない。

⑥ 雑収入

受取利息収入は普通預金、定期預金の平成21年度の実績をふまえ、30,000円を見積計上した。

事業活動収入合計

以上の結果、事業活動収入合計は23,195,000円となり、前期に比して358,400円の減となった。

2. 事業費支出について

① 事業費支出

1) 一般運営費支出

- ◇ 「機関誌『大学体育』発行費支出」は、平成 21 年度精算時の実績をふまえ、1,460,000 円を計上した。
- ◇ 「論文誌『大学体育学』発行費支出」は、前期と同額の 450,000 円を計上した。
- ◇ 「会員増強費支出」は、引き続き新規会員加入促進をはかることを目的とし、ポスター等印刷費を含め前期より 30,000 円増額し 190,000 円を計上した。
- ◇ 「FD 評価関係費支出」は、審査員への謝金等を含め前期より 93,000 円増額し 511,400 円を計上した。
- ◇ 「図書刊行費支出」は、前期と同額の 398,000 円を計上した。
- ◇ 「シンポジウム開催費支出」は、日本体育学会との共催シンポジウム開催費用である。前期実績を考慮し 500,000 円を計上した。
- ◇ 「研修会教材作成費支出」は、指導者養成研修会等で使用する教材の開発、検討、作成の費用が含まれる。前期と同額の 54,000 円を計上した。
- ◇ 「表彰関係費支出」は、表彰対象者の増加が見込まれ、269,000 円増額し 446,000 円を計上した。
- ◇ 「ホームページ関係費支出」はデータ整理等の経費を見込み、前期と同額の 300,400 円を計上した。
- ◇ 「大学体育資料作成費支出」は、資料を作成するためのアルバイト代等を含め 50,000 円増額し、98,000 円を計上した。
- ◇ 「指導者養成研修会費支出」は、900,000 円減額し、1,000,000 円を計上した。
- ◇ 「会議費支出」および「旅費交通費支出」は、前期実績を踏まえ、それぞれ 307,650 円、669,750 円を計上した。
- ◇ 「印刷製本費支出」は、大学体育問題連絡会に関連する費用 200,000 円を増額し、228,000 円を計上した。
- ◇ 「給料手当支出」は、大体連運営にかかわる事務職員給与であるが、平成 22 年度はベースアップを見積もり、2,090,000 円を計上した。
- ◇ 「賃借料支出」は、公益法人化を見据えて管理費支出と折半することとし、例年通りの金額の 2 分の 1 の 665,000 円を計上した。
- ◇ 「通信運搬費支出」は平成 21 年度精算時の実績をふまえ、33,000 円減額の 695,000 円を計上した。
- ◇ 「図書費支出」は推薦図書の購入等の費用であるが、前期は公益法人に関する図書の購入のため増額されたが、当期は例年並みに戻し 30,000 円を計上した。
- ◇ 「消耗品費支出」は部会、委員会の増加のため増額し、42,000 円を計上した。
- ◇ 「雑支出」は平成 21 年度精算時の実績を考慮し、1,000 円減額して 14,000 円を計上した。

2) 研修事業費支出

- ◇ 「研修会補助金支出」は、350,000 円減額して 1,000,000 円を計上した。
- ◇ 「研修会調査準備費支出」は中央研修会主管支部にその調査準備を補助するものであり、80,000 円を計上した。
- ◇ 「印刷製本費支出」は中央研修会に係わるポスターや資料の印刷関係費であり、前期と同額の 200,000 円を計上した。
- ◇ 「中央研修会費支出」は、中央研修会の運営調査、各部長の派遣に関わる経費であり、開催場所が関東であるため、300,000 円減額し 500,000 円を計上した。
- ◇ 「研修会企画調整費支出」は、中央研修会の事前調査に関わる費用であり、前期と同額の 60,000 円を計上した。
- ◇ 「支援補助金支出」は、申請団体増加のため、前期より 100,000 円増額し 900,000 円を計上した。

3) 研究調査費支出

- ◇ 「研究助成費支出」は、ポスター印刷費 61,000 円を増額し 661,000 円を計上した。
- ◇ 「旅費交通費支出」はメンタルヘルスに関する調査を実施するため、4,200 円増額し 39,200 円を計上した。
- ◇ 「検討会議費支出」、「印刷製本費支出」、「通信運搬費支出」、「消耗品費支出」、「図書費支出」、「研究調査雑給費支出」は前期と同額を計上した。
- ◇ 「大学体育問題講演会開催支出」は、予算計上されていないが、実施される場合は予備費で対応することとした。

4) 支部補助金支出

- ◇ 支部補助金支出は前期と同額の 3,600,000 円を計上した。

5) 国際交流費支出

- ◇ 「国際会議費支出」は国際学会年会費に係わる費用で、当期は ICHPER・SD、および ICSSPE 分として 50,000 円を計上した。前期よりも増額しているのは、ICHPER・SD の年会費値上げによるためである。
- ◇ 「海外研修費支出」は ICHPER・SD 世界大会派遣に係わる費用で、平成 22 年度はドーハ開催のため 30 万円を計上した。

② 管理費支出

- ◇ 「給料手当支出」は大体連運営にかかわる事務職員給与の経費および監査経費の 2,150,000 円を計上した。
- ◇ 「臨時雇賃金支出」は総会開催に伴うアルバイト雇用のため、60,000 円を計上した。
- ◇ 「顧問報酬費支出」は、前期と同額の 480,000 円を計上した。
- ◇ 「総会・理事会費支出」は、前期と同額の 954,000 円を計上した。この小勘定科目には、

総会・理事会に係わる会議費、印刷製本費、旅費交通費、講師謝礼、懇談会費等が含まれる。

- ◇ 「会議費支出」および「旅費交通費支出」は、公益法人化に伴う会議・打合せ等が増加することを見込み、それぞれ増額し 293,650 円、646,000 円を計上した。
- ◇ 「印刷製本費支出」は前期と同額の 400,000 円を計上した。
- ◇ 「通信運搬費支出」は前期実績をふまえ、50,000 円増額して 40 万円を計上した。
- ◇ 「賃借料支出」は、公益法人化を見据えて事業費支出と折半することとし、例年通りの金額の 2 分の 1 の 665,000 円を計上した。
- ◇ 「諸謝金支出」は公益法人化関連の勉強会の開催を見込み、120,000 円増の 160,000 円を計上した。
- ◇ 「慶弔費支出」、「消耗品費支出」、「図書費支出」、「消耗什器備品費支出」、「光熱水料費支出」、「租税公課支出」、「雑支出」は、前期と同額を計上した。

以上の結果、当期の事業活動支出の合計は 24,356,250 円となり前期に比して 726,156 円の減となっている。

II 投資活動収支の部

投資活動収支の部は新会計基準に準拠して新たに設けた項目である。今期は計上していない。

III 予備費支出

当期は 16,798,750 円を計上した。前期に比して 447,756 円の増となっている。

前期繰越金収支差額

前期精算時点の見込み額である 17,960,000 円を計上した。

IV 当期の収支

1) 事業費支出と管理費支出の比率

予備費を除いた当期支出合計の 24,356,250 円に対して、事業費支出の 17,752,600 円は 73%、管理費支出の 6,603,650 円は 27%となっている。

2) 当期収支の差

当期の事業活動収入合計は 23,195,000 円、予備費を除く当期の事業活動支出合計は 24,356,250 円であり、差引 1,161,250 円の支出超となった。

以 上